

# こころ

牛久第一中学校  
令和5年9月15日  
文責 校長 本橋和久

## 学校経営哲学「民主性」を育むために～3年生が中学生議会で質問

8月8日（火）に牛久市役所本庁舎内の議場で中学生議会在開されました。本校からは2名の3年生が質問をしました。本校の経営哲学のひとつに「民主性」があります。これは学校においては「ひとりひとりが主人公・誰もが対等に意見を述べる場・誰もが安心して学ぶことができる場」という意味です。社会人になったら地域社会や国という大きな範囲での生活が待っています。その時に自分の主張や疑問を相手にわかるように伝える力や態度がとても重要になります。今回の議会で本校からは青野倅大さんと有福颯太さんが出席しました。要旨は以下のとおりです。

### 「牛久市で推進している学び合いについて」

牛久第一中学校の青野 倅大です。「牛久市で推進している学び合い」について質問いたします。私たちは、小学校入学の時から、同じグループの人やペアの人と学習課題について「学び合い」、「聞き合い」、困っているときは協働し合って学習に取り組んできました。自分の考えたことや意見を他の人にわかりやすく伝えるには、課題をきちんと理解すること、分かりやすい言葉で表現することが重要です。私自身、思うように伝えられず、もどかしく思うことがありました。それでも自分の考えを伝えていくと、少しずつ表現力や語彙力が身に付いてきていると感じることがあります。しかし、自分の意見を伝えることが苦手の友達もおり、個人差が大きいのではないかと考えてしまいます。また、グループで出した答えが間違っていて、答え合わせによって間違いに気づき、不安になることがありました。どのような学習にも個人差はあると思いますが、他の市町村では学び合いをしていないところもあります。では、牛久市で推進している学び合いによって、児童、生徒の学びにどのような学習効果や成果があったのだろうか。具体的に教えていただければと思います。

### 牛久市で推進している学び合いについて（答弁の要旨）

この「学び合い」の授業によってどのような学習効果や成果があったのか、主な2点を挙げます。1つ目は成人式です。牛久市で9年間学び続けた姿は、成人式に参加する青野議員の先輩達の聴く態度に表れています。以前はステージに勝手に登ってくる成人もおりましたが、現在は市長祝辞の時はもちろん、式を通して本当に静かに話を聞くことができます。「聴き合う関係」で身に付いた力が成人になった先輩方の姿に表れていることを嬉しく感じています。2つ目は、県や国の学力診断テストの結果です。県や国と比較して結果を見てみると、牛久市の子供たちは、学年が上がるにしたがって学力が向上しています。特に中学校3年生になると県や国の平均より10点以上の上昇が見られます。このような授業を推進するために先生方は毎月研修に励んでいます。

### 「牛久シャトーについて」

牛久第一中学校の有福 颯太です。「牛久シャトー」について質問いたします。現在、牛久第一中学校では総合的な学習の時間に牛久シャトーについて学習を進めています。牛久シャトーは、1903年 神谷 傳兵衛氏が開設した日本初の本格的ワイン醸造場であり、2020年には、日本文化遺産に登録されています。牛久市では、牛久シャトーを軸に、イベントや観光による交流を促進し、「ワインと食」による観光振興を図っていると聞いています。しかし、学区内に牛久シャトーがあるにもかかわらず、私たち中学生が自らシャトーに行くことは、ほとんどありませんでした。これまで、牛久第一中学校では、観光客増加作戦として、様々な提案をしてきました。また、昨年は「ホワイトマルシェ」において、缶バッチのデザインやタンブラーのデザインを考案し、配付、販売をしていただいております。今年度は、クリアファイルのデザインを考案しています。しかし、牛久シャトーの知名度を上げるところまではいっていません。そこで、牛久市として今後どのような取り組みをしようと考えているのか、お教えてください。また、私たち地域の小・中学生が、牛久シャトーを他地域の方にもっと知ってもらうためにできる取組などがあれば、お聞かせいただきたいと思っております。

### 牛久シャトーについて（答弁の要旨）

今年度は、5月3日に牛久シャトーにて「第2回牛久シャトー日本遺産フェスタ」と「第34回うしく・鯉まつり」を同時開催しました。うしく・鯉まつりのブースでは、子ども向けのイベントが数多く開催され、日本遺産フェスタでは山梨県甲州市、水戸市、笠間市の特産品の販売や、それぞれの市職員による日本遺産講演会も行われ、若い世代に牛久シャトーや日本遺産について知っていただくことができました。今後は、牛久市及び甲州市の地元商工会やワイナリー参画のもと、日本遺産構成文化財を中心に認定エリア内を日本遺産ストーリーに触れながら周遊するスタンプラリーを実施し、観光拠点として整備することで観光客の誘致および、日本遺産の認知度向上及び地域活性化を図ります。小・中学生をはじめとした次の牛久市を担う世代が牛久シャトーについて学び、また実際足を運んで体感していただき、そしてそれを発信して市内外の人に関心をもってもらうことで、観光客増加につなげていきたいと考えますので、今後も若い世代の視点から積極的に提案やアイデアを出していただけますよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

## 夏休み明け全校集会でお話したこと ～ 8月28日（月）

- 1 協働するということ  
◇仲間と協働しながら学んだり働いたりする経験を積み重ねることで、自分ひとりでは思いつかなかった解決の手立てを自分の引き出しに追加できるため、いずれひとりでも解決できるようになると同時に、チームのリーダーとして社会に貢献できる資質を養うことができます。
- 2 納得するまで突き詰めること～他者に説明できるまでの理解を  
◇「どこを見ればいいのか?」「どこに書いてあるの?」「どうしてそうなるの?」「ここまではわかるんだけど、ここからがわからない。」と堂々と言うことです。訊かれた人は「ここまではわかる?」「教科書の何ページに書いてあるよ。そこ見てみたら。」「わかった。ありがとう。」「どういたしまして。〇〇さんの役に立ったなら私もうれしい。」このような関係のことを「互恵的な関係」と言います。訊いた人も説明した人も何かを学べる、どちらも幸せを感じられる、自己有用感と友達への信頼を抱くことができるということです。毎日の授業や学級活動などでこの「どちらも幸せになれるやりとり」をたくさんしていきましょう。それがリスペクトの具体的な姿です。
- 3 真のリーダーとは?  
◇リーダーとはまず自分を正しくリードできる人。縁の下の力持ちでもある。誰もやらないなら自分がやる!と決断して実行できる人。だからみんなから信頼されるのです。日常の学校生活に加えて、これから行われる体育祭や合唱コンクールでも是非リーダー性を発揮してください。

